

国、県、嵐山町は、子育て、人育てに、力を注いでほしい。

法の改正で、都道府県は、学級の定員を決定できるようになりました。

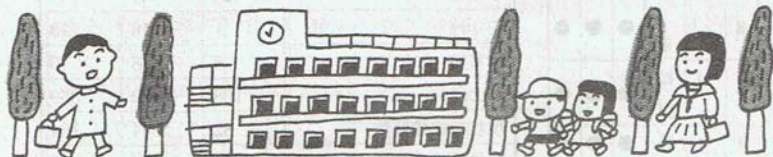
埼玉県は、小学校1・2年生、中学校1年生で、1学年 3 クラス以上の学年は、38人学級にすることを決めました。

- 小学校1・2年生、中学校1年生の場合は、1学年115人以上の場合は、38人学級以下になり、1クラス28人以上38人にすることができます。
- この学級定員の決定は、県教職員の定員を増やして、小人数学級に対応しようとするものではなく、埼玉県下の学校で23クラス以上ある学校の先生の定数を減らして、その先生を38人以下学級にまわすというのです。
- 平成14年度の嵐山町の場合は、

☆菅谷小学校新1年生は、入学希望者が77人でした。県は、2クラス以下の小規模校は、38人学級にすると決定していないので、39人のクラスと38人のクラスになります。新小学1年生には、担任のほか補助の先生がつくといいですね。

☆玉ノ岡中学校では、今年は社会科の先生が1人だけでした。家庭科の先生は、0でした。嵐山町は、もう1人社会科の先生を県の非常勤講師で対応し、家庭科は音楽の先生が兼務し、1、2学期は、補佐として緊急雇用対策で家庭科の先生を雇いました。3学期は音楽の先生が1人で家庭科と音楽を教えています。

	新1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生	
	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級
菅谷小学校	77	2	82	3	90	3	91	3	87	3	94	3
鎌形小学校	9	1	3	複	10	複	9	複	7	複	12	1
志賀小学校	46	2	39	1	30	1	35	1	36	1	32	1
七郷小学校	13	1	29	1	37	1	35	1	35	1	40	1
菅谷中学校	111	3	116	3	136	4						
玉ノ岡中学校	93	3	88	3	78	2						



- 財政力のある和光市では、市の予算で、教員を雇用して、小人数学級に対応しています。嵐山町では、独自予算で教員を雇用するのが難しく、一歩とどきません。
- 少子化による影響は、子どもの人数が少なくて、クラブ活動が成立なくなっています。子育て、人育てが、今までのやり方では、難しくなっています。

小学校・中学校・高校を、くまひすで利用できるバリアフリーに



- 武蔵嵐山駅は、橋上駅と、複線化に伴って、足の不自由な人、ベビーカー、車椅子でも利用できるようにエレベーターが設置されています。交通バリアフリー法が制定され、交通機関は、くまひすの人も利用できるようにする事を義務付けられています。
- 図書館、役場庁舎などの公共施設も、車椅子の方も利用できるように、スロープ化やエレベーターが設置されています。ハートビル法が制定されて、公共施設は障害のある人も利用できるようにすることになりました。
- 人が、人生のなかで最も利用する公共施設の学校は、障害のある子どもも専門の学校と普通学校に分れています。大人の社会はノーマライゼーションといって、障害があっても普通に地域に参加していける事をめざしていますが、教育は、健康な子どもと障害のある子供を分け、障害別に子どもを集めた特別な学校で特別な教育することがよいという考え方も根深く、地域の学校に入学させたいという保護者を悩ませます。
- 学校もノーマライゼーションをめざす政策を確立して、エレベーター、スロープ、くまひす用のトイレの設置を義務付けるべきだと考えます。障害をもった子どもも地域で一緒に育つ事ができるように、支援の必要な子どもには支援員を配置し、障害のために必要な学習のサポートを行い、地域で一緒に育てることも考えましょう。
- 嵐山町議会は、12月、町民からの請願を受け「障害のある子どもが入学する学校は、親の希望を尊重することを法律に明記すること」「障害のある子どもが地域の学校を希望する時は、誰もがその子が地域で学校生活を送るために必要だと思う支援をおこなうことを法律に明記すること」という趣旨の意見書を国に提出しました。

映画「点子ちゃんとアントン」 笑えて、泣けてきます。ビデオになっています。原作は、エーリッヒ・ケストナー。私は数十年ぶりに、ケストナーの「エミールと探偵」や「飛ぶ教室」、「二人のロッテ」を読み直しました。ケストナーは、自分の課題を子どもの力で行動して解決していく、子供の方で幸せになる、こどもは自分の課題を解決するために自分の力で行動しているのだよ、大人はこどもの投げかけた問題をキャッチしようというメッセージを送り続けています。嵐山町もこのメッセージを子どもに送り続け、子どもたちを受けとめたいですね。